

福島県環境創造センター 研究棟・交流棟 の概要について

平成 26 年 1 月



イメージパース

福 島 県

■計画の基本方針

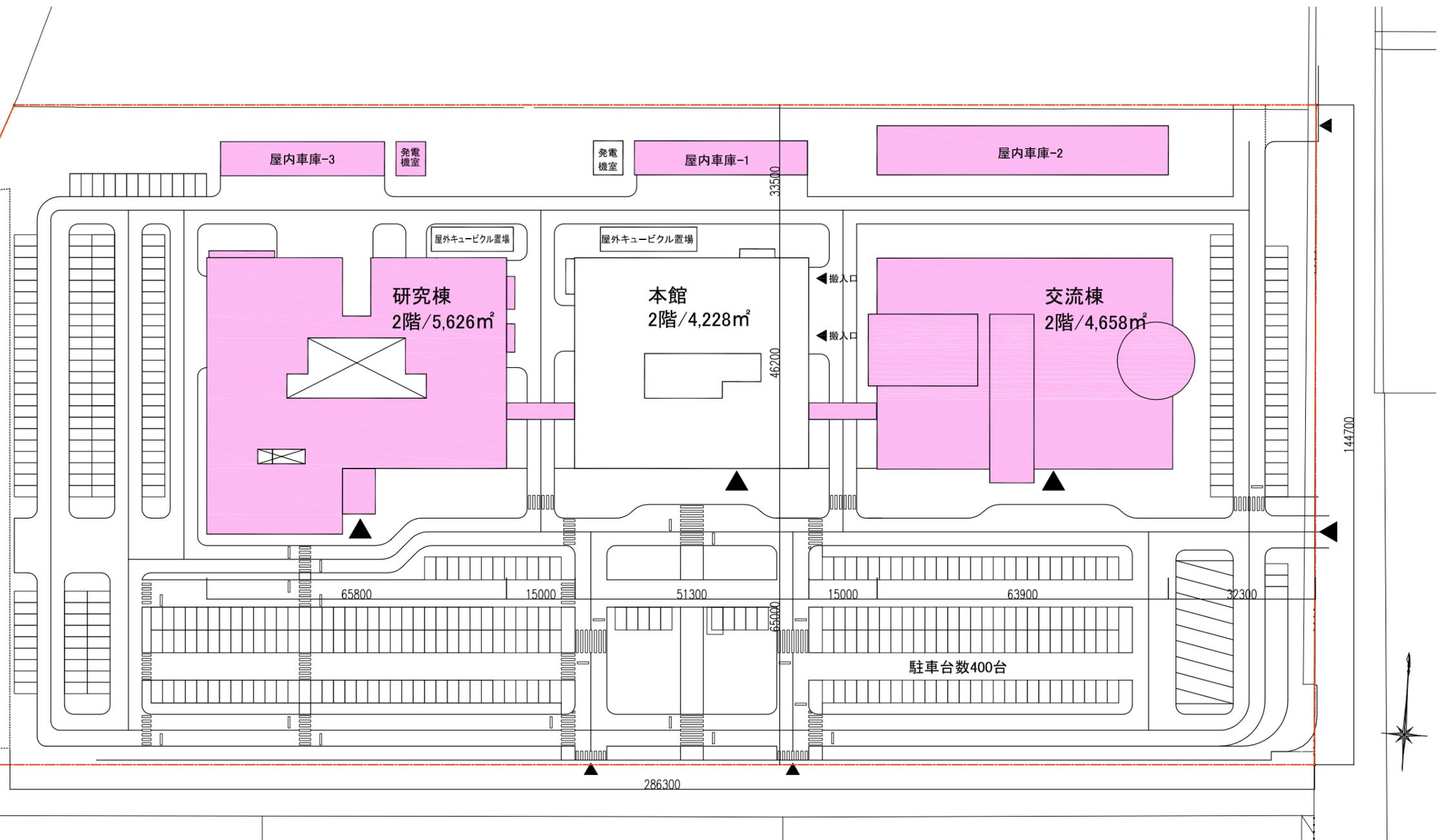
- ・モニタリング、調査・研究、情報収集・発信、教育・研修・交流の4つの機能を効果的に発揮させる。
- ・(独)日本原子力研究開発機構及び(独)国立環境研究所を招致するとともに、国際原子力機関(IAEA)緊急時対応能力研修センターを誘致。
- ・防災拠点として必要な機能を持ち、再生可能エネルギーを利用。
- ・子供たちはもとより国内外からの見学者を迎えられる県民に開かれた施設。

■案内図



■敷地・建物概要

敷地概要	
建設場所	: 福島県田村郡三春町深作地内
敷地面積	: 46,363㎡ (平地面積)
地域地区	: 非線引都市計画区域
用途地域	: 工業地域
防火地域	: 指定無
前面道路	: 東側16m、南側10.5m
建物概要	
本館	: 4,228㎡
研究棟	: 5,626㎡
交流棟	: 4,658㎡
合計	: 14,512㎡



研究棟・建築概要

建築面積 : 3,112㎡
延床面積 : 5,626㎡
階数 : 地上2階
構造 : 鉄筋コンクリート造
建物構成 : 研究室、分析室、実証実験室、事務室
招致機関 : 独立行政法人 日本原子力研究開発機構
独立行政法人 国立環境研究所

用途

- ・環境創造センター研究棟は、招致する（独）日本原子力研究開発機構（JAEA）及び（独）国立環境研究所（NIES）とともに県を含む三者が連携協力し、除染技術、放射性物質の環境動態解明、廃棄物・土壌の処理技術など、本県の環境の回復・創造に向けた調査・研究を行う施設です。
- ・（独）日本原子力研究開発機構は、主に放射性物質による環境の汚染を除去し、環境を回復・創造させるための調査及び研究開発を行います。
- ・（独）国立環境研究所は、主に汚染廃棄物・土壌の処理技術の評価・開発や放射性物質の環境動態解明など、環境の回復・創造のための調査・研究を行います。



■配置・平面計画

- ・研究棟は3棟の中で最も西側に配置されます。
- ・南側道路よりアプローチする計画です。
- ・入口から右手、東側の1・2階が（独）日本原子力研究開発機構のエリアに、入口から左手、西側の1・2階が（独）国立環境研究所のエリアとなり、中央部にある中庭等の空間によって区分しながらも視覚的に繋がる空間構成です。
- ・事務室、会議室等を南側に配置し、実験室・分析室・実証実験室等を北側に配置します。
- ・2階東側の渡り廊下で本館と接続し、三者が連携・協力して調査・研究に取り組みます。

■断面計画・エリア構成

（独）国立環境研究所エリア

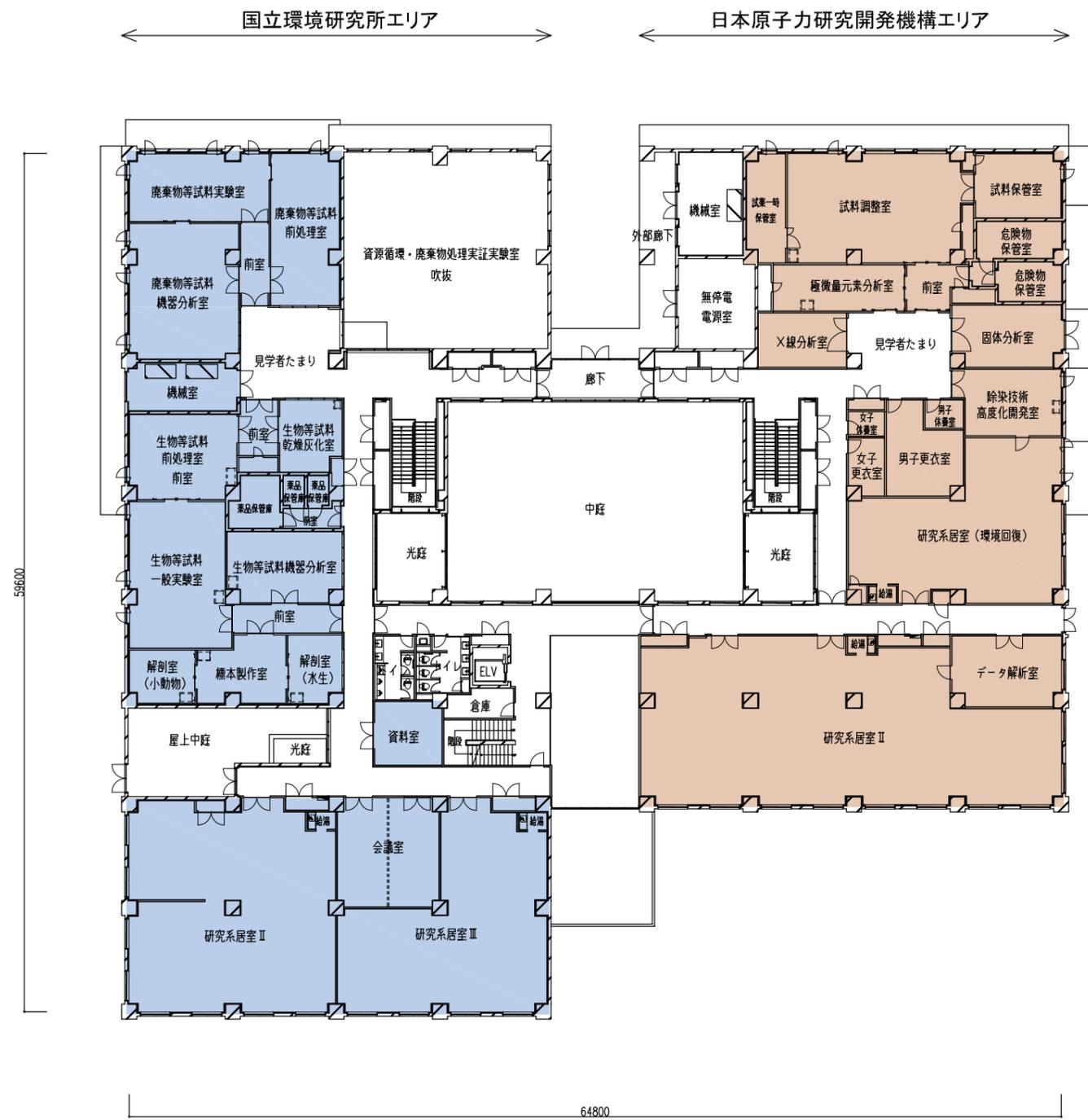
- ・1階入口左手に事務系居室を配置します。
- ・研究系居室は1・2階の南側に配置し、分析室・実験室等を北側に配置します。
- ・放射能の測定機器を置く測定室や試料保管庫、資機材保管庫等は1階に配置します。
- ・廃棄物や生物等を扱う実験室・分析室は2階に配置します。
- ・資源循環・廃棄物処理実証実験室は吹き抜けとし、実験プラント等を設置し広いスペースを活用した実証実験ができるようにします。
- ・来館者が施設見学を行いやすいように、実証試験室や廃棄物・生物等の分析室の前に見学者たまりを設けます。

（独）日本原子力研究開発機構エリア

- ・1階入口右手に事務系居室を配置します。
- ・研究系居室は1・2階の南側に配置し、分析室・試料保管室等を北側に配置します。
- ・放射能の測定機器を置く測定室や資機材保管庫等は1階に配置します。
- ・除染技術の開発や環境中セシウムの移動挙動を調査する実験室・分析室は2階に配置します。
- ・来館者が施設見学を行いやすいように、スクリーニング室や精密分析を行う分析室等の前に見学者たまりを設けます。



1階平面図



2階平面図

■ JAEA専用エリア ■ NIES専用エリア

交流棟

建築面積 : 2,958㎡
延床面積 : 4,658㎡
階数 : 地上2階
構造 : 鉄骨造
建物構成 : 展示室、ホール、会議室 等

建築概要

- ・ふくしまの子どもたちが安心して輝く未来を創造するための交流棟です。
- ・子どもたち・県民とともにふくしまの未来を創造する「対話と共創の場」とします。
- ・ふくしまの環境を知り、創り、発信する展示エリア、国際会議・学会・シンポジウム等を開催する会議室エリア及び管理エリアにより構成されています。
- ・防災拠点としての機能を持ち、本館と併せ60kwの太陽光パネルを設けることにより、再生可能エネルギーの利用と普及啓発を図ります。



■玄関・管理エリア

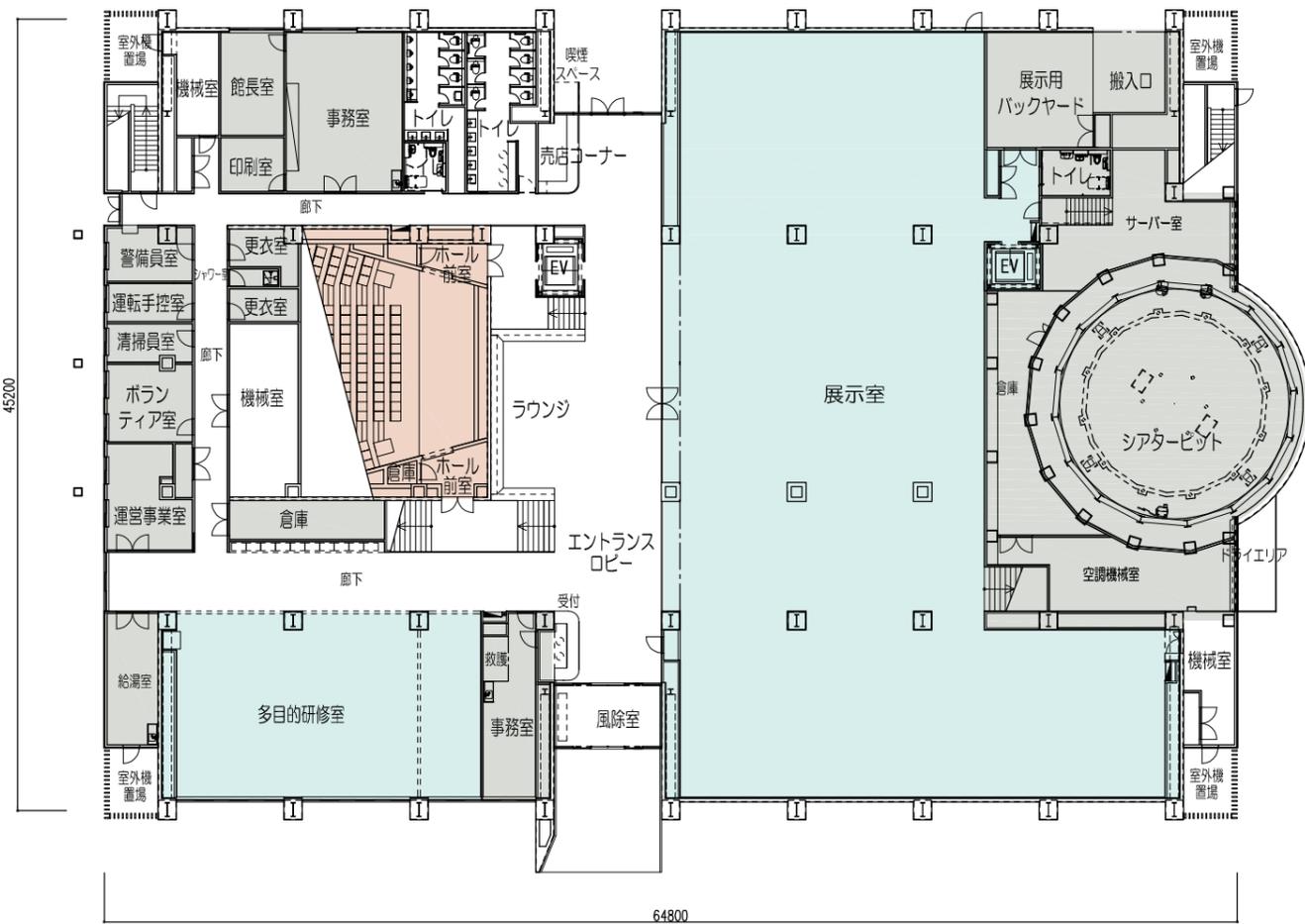
- ・正面玄関入口を入ると、奥行き30mのエントランスロビーとなっており、受付やラウンジを設けます。
- ・子どもたちをはじめ県民の皆様が安心して施設を利用できるように、救護や授乳コーナーなど必要な管理設備を設けます。

■展示エリア

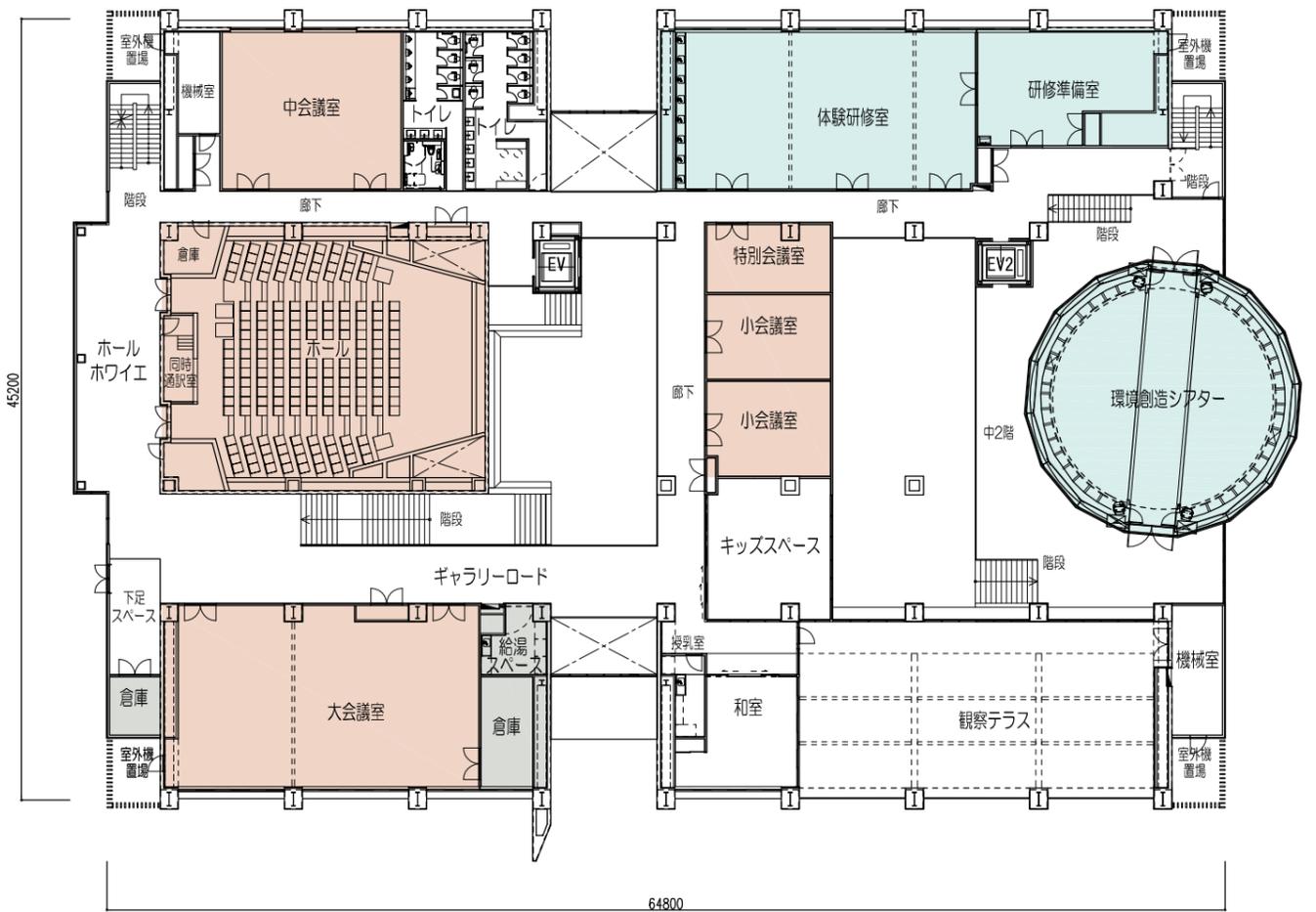
- ・入口から右手が展示エリアです。
- ・1階は「知る・体験する」展示エリア、中2階シアターは未来を描くエリア、2階体験研修室は考え体験するエリアとなります。
- ・放射線や環境への「知識」から意識を醸成し「実践」へとつなげます。
- ・シアターでの映像や企画展示は、国立科学博物館と連携・協力により取り組みます。

■会議室エリア

- ・入口から左手1階には、200名収容ホール（同時通訳施設付）及び多目的研修室を配置します。
- ・2階には大会議室（定員120名）、中会議室（定員70名）、小会議室（定員25名）3室を配置し、国際会議や学会等がスムーズに開催できます。
- ・また、2階には地域に開かれたスペースとして、キッズコーナーや和室を設けます。
- ・多目的トイレやエレベーターを複数設け、どなたでも利用しやすい施設となります。
- ・2階には本館へと繋がる渡り廊下があります。



1階平面図



2階平面図



